

修了生の活躍事例

新たな業種にチャレンジ！ 就職に強いポリテクなら安心です！

前職では福祉施設に勤務し障害者支援、レクリエーション企画、受付を担当していました。毎日の仕事は忙しい中でも充実していましたが、以前からものづくりに興味があり新しいことに挑戦する機会を探していました。その時、母からポリテクセンター佐賀を勧められて受講案内のパンフレットを読み、施設の見学会にも参加するなどしてポリテクセンターとはどのような場所なのかを知るところから始めました。検討した結果、未経験者でもチャレンジできると考え職業訓練の受講を決意しました。住環境CAD科を選んだのは、大変興味があったCAD操作が習得できること、訓練内容が母の経験した仕事と一致していたからです。訓練を受講する中で、木材加工や内装施工など初めて経験したことが新たな知識と技能として身につけていると感じていました。新しいことへの挑戦を掲げて就職活動を進めてものづくりの仕事へ就くことができ、有意義な6か月間を過ごすことができたと感じています。

訓練で習得したことが現在の仕事に役立っています

ポリテクセンターで学んだ知識や技能の中で、専門用語や工具の使用方法が業務で役立っています。業務の打ち合わせでは専門用語が必須で、現在も家具製作に関連した専門用語を学び知識を増やしています。また、訓練で使用した木工手工具の使い方や木材の加工方法の基礎知識や技能を、家具製作の部品作りに活用しています。特にのこぎりの使用方法は作業に大変役立っています。

有限会社寿家具大川製作所

木屋 双巳さん

[⇒前職：福祉(正規)]

住環境CAD科

令和5年3月 入所
令和5年8月 修了



これから職業訓練を考えている方へ

受講者のほとんどは専門分野の未経験者のため、テクノインストラクターは優しく指導をしてくれます。受講者の年齢は20歳代から60歳代まで幅広く、女性の方も多く受講しています。受講生はそれぞれの経験を持っているので、話をすることで新しい知識や情報を得ることもできました。私の就職についてはポリテクセンターを通して企業からオファーを頂き就職することになりました。職業訓練の受講は、新しい仕事にチャレンジするきっかけになると思います。

就職先企業での活躍

木屋双巳さんの業務

チェスト製作に必要な木材の部品加工を担当しています。木工機械のパネルソーを操作してウォールナットなどのツキ板合板を切断したり、丸のこ横切り盤で木材を切断したりしています。その他、必要に応じて手工具ののこぎりを使用して部品加工をしています。



採用者の声 専務取締役 辻 和仁様

採用には、当たり前ですが、挨拶、ありがとう、わかりませんが言える人、やる気のモチベーションの持ち方が重要と考えています。木屋さんはコミュニケーション能力が高く工具と打ち解けています。仕事を覚える努力として、自分のためにノートに写真付きで日報を書いていました。今後も女性・未経験者が働きやすい環境作りを進めていきます。



有限会社寿家具大川製作所 (福岡県大川市)

チェスト・桐箆筒・仏壇に力を入れています。チェスト・桐箆筒の場合は「長持ち・使いやすさ」を基本に据え、お客様にデザインを提案して一緒に考えながら作り上げていきます。時代の流れにあわせた新しい試みにも積極的に取り組んでいます。現場は何でも作れる体制になっていますが、これまでの実績と新たな分野のバランスをうまくとりながら、事業を進めていきたいと考えています。

